

2021年5月21日

株主各位

会社名 株式会社ランシステム
 代表者役職氏名 代表取締役社長 日高大輔
 (コード番号:3326)

問い合わせ先 常務取締役 面高英雄
 TEL 03-6907-8111 (代)

第三者割当による新株式発行に関するお知らせ

当社は、2021年5月21日開催の臨時取締役会において、第三者割当による新株式(以下、「本株式」といいます。)の発行(以下、「本第三者割当増資」といいます。)を行うことについて決議いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

なお、本株式の割当予定先である日高大輔氏、西原光男氏、西原貴志氏は、当社と特別の利害関係を有するため、本株式の発行に係る取締役会決議には参加していません。

記

1. 募集の内容

(1) 払込期日	2021年6月10日(木)	
(2) 発行新株式数	当社普通株式 310,000 株	
(3) 発行価額	1株につき 449 円	
(4) 調達資金の額	139,190,000 円	
(5) 募集又は割当方法 (割当予定先)	第三者割当の方法によります	
	株式会社アニヴェルセル HOLDINGS	155,000 株
	日高大輔	111,000 株
	株式会社デアルカ	22,000 株
	西原光男	11,000 株
	西原貴志	11,000 株
(6) その他	本第三者割当については、金融商品取引法による届出の効力発生を条件としております。	

2. 募集の目的及び理由

(1) 本第三者割当増資の目的及び経緯

当社グループは複合カフェ「スペースクリエイティブ自遊空間」チェーンの運営を主な事業として、店舗を利用されるお客様へ24時間365日、飲食、リラクゼーション、アミューズメント等の時間消費型ニーズを満たす快適な空間の提供を行って参りました。また、近年注目の高まっているセルフ化システムやテレワーク環境を支援するシステム等の各種システムの販売、管理等を外販事業として注力して参りました。

2020年4月以降の新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う緊急事態宣言、休業自粛要請や時短営業によって個人消費の低迷が続いており、旅行やイベント等の中止・延期によるサービス業やアミューズメント業界への影響は大きく、当社事業も大幅な売上高及び利益の減少を受け、未だ感染拡大前の状況には回復していません。一時回復の兆候も見られたものの、2021年4月にも緊急事態宣言の発令がなされ、今後もこうした状況が長期化することが懸念されます。

当社では、銀行借入れを中心に、当面の運転資金を確保して参りましたが、上記影響の長期化

に伴い、資本の増強を図るとともに、減少した手元資金を補填することを目的として本第三者割当増資による資金調達を行います。

当社の自己資本の拡充に向けた今後の展開としましては、主たる事業である店舗運営事業において、コロナ禍以前の売上規模に比べて 8 割程度の売上高に持ち直すことで収益が見込めるよう収益構造の適正化を図るとともに運営コストの見直しを図っております。また、外販事業等の販路の拡大と取扱製品の開発を行い、新たな収益源の創出にも努めて参ります。

本第三者割当増資の実行に当たって、割当予定先について、弊社の複数の既存取引先や役員等を候補として検討を行いました。その結果、本第三者割当増資が当社の進行情(2021年6月期)中に実行できること、割当金額等の条件が合致し今般のタイミングにて割当を受けて頂けることから、当社の取引先である法人 2 社と当社役員 3 名を選定いたしました。

当社の運営する複合カフェ「スペースクリエイティブ自遊空間」は近年、店舗オペレーションのセルフ化・無人化を図り、店舗運営の効率化を推進して参りました。このセルフ化・無人化等に関する技術は当社の自社開発によるシステムを主としており、これまでに自遊空間チェーン加盟のフランチャイズ店舗や時間課金制によるビジネスモデルを運用する企業に向けて、販売や導入後の保守サポート等を行って参りました。複合カフェやインターネットカフェ業界において、当社の開発したシステムは店舗の効率的な運営体制を整える上で利便性の高いものであると認識しており、同業である複合カフェ「快活 CLUB」を運営する株式会社快活フロンティア(神奈川県横浜市都筑区北山田三丁目 1 番 50 号 代表取締役:谷井真吾)にもシステムの一部開発や導入を提案し、実運用に向けて努めております。今般、割当予定先となった株式会社アニヴェルセル HOLDINGS は株式会社快活フロンティアと同じく株式会社 AOKI ホールディングス(神奈川県横浜市都筑区葛が谷 6 番 56 号 代表取締役:青木彰宏)のグループ会社であります。本第三者割当増資について AOKI ホールディングスグループと協議検討を続けた結果、アニヴェルセル HOLDINGS より割当を受けることを提案され、割当予定先として選定いたしました。今後、複合カフェ業界や双方グループのより一層の発展のため、ビジネスパートナーとして協力体制を築いて参ります。

株式会社デアルカは、主に EC サイトの発送代行業務を行っており、当社複合カフェ事業を中心とした商品発送・倉庫管理の業務委託を行っております。当社はダーツやビリヤード製品及びペット関連商品を EC サイトにて販売しており、今後も取扱商品を増やす等して注力していく予定です。その中で、本第三者割当増資の提案を引き受けて頂きました。今後の当社事業の物流面において、より強固な体制を築けるものと判断しております。

また、当社の代表取締役社長である日高大輔氏、社外取締役である西原光男氏、同社外取締役である西原貴志氏が本第三者割当増資の割当予定先となることにより、これまで以上に企業価値向上を目指した経営を重視することとなり、経営層が自らの資金で当社普通株式を取得することによって、株主の皆様との価値共有が一層促されること、また、当社役員が本株式を中長期的に保有することで、株式基盤の安定が見込めることから、中長期的な視点での企業価値向上が期待できると判断しております。

(2)本第三者割当増資を選択した理由

当社は、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う売上高の減少を受け、これまでに当面の資金繰りのため、主要取引銀行等より 2020 年 3 月から 2020 年 12 月の期間において 14 億円、当社の 100%子会社である株式会社ランセカンドにおいて 2020 年 11 月に 1 億円、当社グループ合計で 15 億円の借入を受けております。この借入金は、主に運転資金の支払いに充てておりましたが、長期化する感染症拡大に伴う売上高及び利益の減少によって当社の自己資本比率は 2020 年 6 月期第 3 四半期累計期間において 2.4%と大きく落ち込む結果となり、2020 年 6 月期の通期業績が債務超過となる可能性も生じております。これを回避するため資金調達の方法を検討いたしました。公募増資、株主割当増資、ライツオフリング、新株予約権発行等によるエクイティ・ファイナンスは調達までに時間を要すること、必要な資金が確実に調達できない可能性があることから用いず、必要な資金を適切なタイミングで確保できること、銀行からの追加の借入等の負債性の資金調達を実施することよりも早期的な自己資本の増強が必要であることから、本第三者割当増資による資金調達を実行することが適切であると判断いたしました。

当社は 2020 年 5 月に株式会社埼玉りそな銀行との間で期間 1 年、総額 5 億円の短期コミットメントライン契約を締結しておりますが、通常借入よりも金利が高いことから融資枠として保持し、有価証券届出書提出日(2021 年 5 月 21 日現在)においてコミットメントラインを使用した借入は実行していません。また、各取引銀行からは継続的な支援の意向を受けておりますが、同時に脆弱と

なりつつある自己資本の増強も求められております。現在延長継続の交渉中であり、延長が継続されない場合に備えるため、引き続き各取引銀行からの継続支援を受けるためにも本第三者割当増資による資本の増強が必要であると判断しております。

今般の発行株式数によって希薄化率は 15.98%となりますが、資金調達の実績が高いことから、手続及び諸費用の観点も踏まえ、新株予約権ではなく新株式の発行による調達といたしました。なお、本株式の発行につきましては、一定の希薄化率は避けられないものの、割当予定先は本株式の長期保有を前提としていることから、株価及び流通株式数に与える影響は限定されるものと考えております。

3. 調達する資金額、使途及び支出予定時期

(1) 調達する資金の額

① 払込金額の総額	139,190,000 円
② 発行諸費用の概算額	4,000,000 円
③ 差引手取概算額	135,190,000 円

(注) 1. 発行諸費用の概算額には、消費税は含まれておりません。

2. 発行諸費用の概算額の内訳は、登記関連費用 1,000 千円、株式事務手数料 1,500 千円、弁護士費用 1,000 千円、その他諸費用等 500 千円であります。

(2) 調達する資金の具体的な使途

具体的な資金使途	金額(千円)	支出予定時期
①取引金融機関からの借入金の返済	126,984	2021年6月～2021年8月
②運転資金(人件費、地代家賃等)に充当	8,206	2021年6月～2021年8月
計	135,190	

(注) 1. 調達資金を実際に支出するまでは、当社預金口座にて管理いたします。

2. 今後、当社を取り巻く環境に変化が生じた場合等、その状況に応じて、金額又は支出予定時期は変動する可能性があります。

3. 手取金の使途の優先順位は、上記①取引金融機関からの借入返済、②運転資金(人件費、地代家賃等)に充当の順となります。

4. 資金使途の合理性に関する考え方

当社は、本第三者割当増資により調達した資金を、上記「3. 調達する資金額、使途及び支出予定時期 (2) 調達する資金の具体的な使途」に記載の使途に充当することによって、手元資金の維持と今後の事業拡大に向けた投資も図りやすくなることを見込まれるため、その資金使途は合理的であると判断しております。

5. 発行条件等の合理性

(1) 払込金額の算定根拠及びその具体的内容

払込金額は、本第三者割当に係る取締役会決議日の直近3ヶ月間(2021年2月22日～5月20日)の東京証券取引所における当社普通株式の終値単純平均 449 円といたしました。

取締役会決議日の直前営業日までの3ヶ月間の終値平均値を採用したのは、投資家の直近の当社に対する評価をできるだけ適切に反映させるとともに、一定期間の平均値という標準化された値を基準とする方が一時的な株価変動の影響を排除でき、算定根拠として客観性が高く、合理的であると判断したためであります。かかる払込金額は、日本証券業協会の「第三者割当増資の取扱いに関する指針」にも準拠しており、本第三者割当に係る取締役会決議日の直前営業日である 2021 年 5 月 20 日の東京証券取引所における当社普通株式の終値である 416 円に対して 7.9%(小数点以下第二位を四捨五入。本項において以下同じです。)のプレミアム、直前営業日までの過去1ヶ月間の終値単純平均値 419 円に対して 7.2%のプレミアム、直前営業日までの過去6ヶ月間の終値単純平均値 451 円に対して 0.4%のディスカウントとなっており、いずれの期間においても、割当予定先にとって、特に有利なものではないと判断いたしました。また、2021 年 5 月 21 日付の本第三者割当増資に係る取締役会決議に際して、当社監査役3名全員から、当該払込金額は、日本証券業協会の「第三者割当増資の取扱いに関する指針」に準拠したものであり、割当予定先に特に有利な金額には該当しない合理的な水準であり、適

法である旨の意見を得ております。

なお、日高大輔氏、西原光男氏、西原貴志氏は、利益相反の疑いを回避する観点から上記取締役会の審議及び決議には参加していません。

(2) 発行数量及び株式の希薄化の規模が合理的であると判断した根拠

当社の現在の発行済株式数 2,070,900 株(総議決権数 19,398 個)に対して、本第三者割当増資により発行される株式数は 310,000 株(議決権数 3,100 個)であり、発行済株式数に対して 14.97%(議決権における割合は、総議決権数の 15.98%)の希薄化が生じます。

しかしながら、前記「3. 調達する資金の額、用途及び支払予定時期」の「(2) 調達する資金の具体的な用途」に記載のとおり、本第三者割当増資による調達資金を取引金融機関からの借入金の返済に充当することで、運転資金の確保を見込んでおります。

また、本第三者割当増資の割当先である株式会社アニヴェルセル HOLDINGS との資本提携による将来的な事業の発展、並びに安定株主である日高大輔氏、西原光男氏、西原貴志氏に対する株式の割当による株式基盤の安定といった観点から、本第三者割当増資の実施は、当社の企業価値及び株式価値の向上につながるものと考えております。

以上により、本第三者割当増資による発行数量及び株式の希薄化の規模は合理的であると判断しております。

6. 割当予定先の選定理由等

(1) 割当予定先の概要

①株式会社アニヴェルセル HOLDINGS

(2021年3月31日現在)

(1) 名称	株式会社アニヴェルセル HOLDINGS		
(2) 本店の所在地	東京都港区北青山三丁目5番30号		
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役 青木 柁允		
(4) 事業内容	不動産賃貸業		
(5) 資本金	100,000 千円		
(6) 設立年月日	1965年7月1日		
(7) 発行済株式数	200,000 株		
(8) 決算期(事業年度の末日)	3月31日		
(9) 従業員数	8名		
(10) 主要取引先	一般顧客、株式会社 AOKI ホールディングス		
(11) 主要取引銀行	横浜銀行、野村信託銀行、みずほ銀行		
(12) 大株主及び持株比率 (2021年3月31日現在)	青木 柁憲	57.20%	
	公益財団法人 AOKI 財団	37.75%	
(13) 上場会社と割当予定先との間の関係			
資本関係	該当事項はありません。		
人的関係	該当事項はありません。		
取引関係	関連会社である株式会社快活フロンティアとの間に当社外販事業関連の取引があります。		
関連当事者への該当状況	該当事項はありません。		
(14) 最近3年間の財政状態及び経営成績(単位:千円)	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期
純資産	11,121,264	13,193,009	15,704,803
総資産	15,603,168	17,505,454	19,799,477
1株当たり純資産(円)	55,606 円 32 銭	65,965 円 04 銭	78,524 円 01 銭
売上高	1,560,269	1,825,248	1,858,759
営業利益	1,118,415	1,325,695	1,307,922
経常利益	1,095,640	1,334,903	1,305,678
親会社株主に帰属する当期純利益	-	-	-
1株当たり当期純利益(円)	5,208 円 99 銭	11,140 円 02 銭	13,340 円 26 銭

1株当たり配当金(円)	781 円 30 銭	781 円 30 銭	781 円 30 銭
-------------	------------	------------	------------

②日高大輔

(2021年5月20日現在)

(1)氏名	日高 大輔
(2)住所	東京都港区
(3)職業の内容	会社役員
(4)上場会社と当該個人の関係	
資本関係	当社の株式を2,200株保有しております。
人的関係	当社の代表取締役社長であり、当社子会社の株式会社ランウェルネス取締役、当社子会社の株式会社ランセカンド取締役を兼任しております。当社とその他の関係会社である GAUDI 株式会社及びプラザ商事株式会社の取締役を兼任しております。
取引関係	当社と当該個人との取引はありませんが、GAUDI 株式会社との間に当社自遊空間事業関連の取引があります。
関連当事者への該当状況	当社の役員であり、また、当社の主要株主である GAUDI 株式会社及びプラザ商事株式会社の役員を兼任しているため、関連当事者にあたります。

③株式会社デアルカ

(2021年4月26日現在)

(1)名称	株式会社デアルカ		
(2)本店の所在地	埼玉県児玉郡上里町金久保479-1		
(3)代表者の役職・氏名	代表取締役 新井 実		
(4)事業内容	梱包代行業		
(5)資本金	10,000 千円		
(6)設立年月日	2014年12月2日		
(7)発行済株式数	1,000 株		
(8)決算期(事業年度の末日)	9月30日		
(9)従業員数	14名		
(10)主要取引先	一般顧客、株式会社ランシステム、アート印刷株式会社		
(11)主要取引銀行	群馬銀行 本庄南支店		
(12)大株主及び持株比率 (2021年4月26日現在)	新井実	100.00%	
(13)上場会社と割当予定先との間の関係			
資本関係	該当事項はありません。		
人的関係	該当事項はありません。		
取引関係	当社自遊空間事業関連の取引があります。		
関連当事者への該当状況	該当事項はありません。		
(14)最近3年間の財政状態及び経営成績(単位:千円)	2018年9月期	2019年9月期	2020年9月期
純資産	7,131	9,762	12,556
総資産	3,028	33,917	58,416
1株当たり純資産(円)	7	9	12
売上高	83,057	86,048	142,590
営業利益	△1,000	2,812	2,817
経常利益	103	2,701	2,955
親会社株主に帰属する当期純利益(円)	33	2,631	2,793
1株当たり当期純利益(円)	0.03	2	2

1株当たり配当金(円)	0	0	0
-------------	---	---	---

④西原光男

(2021年5月20日現在)

(1)氏名	西原 光男
(2)住所	神奈川県横浜市
(3)職業の内容	会社役員
(4)上場会社と当該個人の関係	
資本関係	当社の株式を22,000株保有しております。
人的関係	当社の取締役会長(社外)であり、当社子会社の株式会社ランウェルネス取締役、当社子会社の株式会社ランセカンド取締役を兼任しております。また、当社とその他の関係会社であるGAUDI株式会社及びプラザ商事株式会社の取締役会長を兼任しております。
取引関係	当社と当該個人との取引はありませんが、GAUDI株式会社との間に当社自遊空間事業関連の取引があります。
関連当事者への該当状況	当社の役員であり、また、当社の主要株主であるGAUDI株式会社及びプラザ商事株式会社の役員を兼任しているため、関連当事者にあたります。

⑤西原貴志

(2021年5月20日現在)

(1)氏名	西原 貴志
(2)住所	神奈川県横浜市
(3)職業の内容	会社役員
(4)上場会社と当該個人の関係	
資本関係	当社の株式を8,800株保有しております。
人的関係	当社の社外取締役であり、当社子会社の株式会社ランウェルネス取締役、当社子会社の株式会社ランセカンド取締役を兼任しております。また、当社とその他の関係会社であるGAUDI株式会社及びプラザ商事株式会社の取締役社長を兼任しております。
取引関係	当社と当該個人との取引はありませんが、GAUDI株式会社との間に当社自遊空間事業関連の取引があります。
関連当事者への該当状況	当社の役員であり、また、当社の主要株主であるGAUDI株式会社及びプラザ商事株式会社の役員を兼任しているため、関連当事者にあたります。

※ 本第三者割当に当たり、当社役員が割当予定先と直接、面談・ヒヤリングを実施し、また、インターネットを利用した検索等によって、反社会的勢力との関係の有無について調査いたしました。また、第三者調査機関である株式会社中央情報センター(大阪市天王寺区生玉前町1-26 代表取締役:安岡優子)に反社会的勢力との関係性の有無について調査を依頼した結果、割当予定先である株式会社アニヴェルセル HOLDINGS、株式会社デアルカ、西原光男氏、西原貴志氏について、また、後記する日高大輔氏の資金の借入先である日高裕介氏について、並びにアニヴェルセル HOLDINGSの主たる出資者である公益財団法人 AOKI 財団(横浜市都筑区茅ヶ崎中央 24-1 代表理事:渡邊一正)について、反社会的勢力でない旨の報告書を受け取るとともに、口頭で反社会的勢力が割当予定先及び当該割当予定先の親会社、主たる出資者、子会社、役員等に関与している事実及び反社会的勢力への資金提供その他の行為等はない旨の報告を受けております。また、アニヴェルセル HOLDINGSの子会社である AOKI ホールディングスについては公開会社であり、同社が東京証券取引所に提出したコーポレート・

ガバナンス報告書において、反社会的勢力排除に向けた基本的な考え方及びその整備状況を説明しております。さらに、同社についても中央情報センターによる調査報告書を入手し、これらについて当該内容を確認し、同社及びその役員が反社会的勢力とは一切関係がないと判断しております。上記の通り割当予定先、割当予定先の役員又は主要株主（主な出資者）が反社会的勢力とは一切関係がないことを確認しており、別途その旨の確認書を株式会社東京証券取引所に提出しております。

(2) 割当先を選定した理由

割当先を選定した理由は、2. 募集の目的及び理由 (1) 本第三者割当増資の目的及び経緯に記載の通りです。

(3) 割当先の保有方針

当社は、割当予定先から、本第三者割当増資により取得する株式について、一層の関係強化の目的に鑑み、中長期的に保有する意向である旨の報告を口頭にて受けております。

なお、当社は、割当予定先から、払込期日より2年以内に本第三者割当により発行される本新株式の全部又は一部を譲渡した場合には、その内容を当社に対して書面にて報告すること、当社が当該報告内容を東京証券取引所に報告すること、並びに当該報告内容が公衆の縦覧に供されることに同意することにつき、確約書を取得する予定であります。

(4) 割当予定先の払込みに要する財産の存在について確認した内容

当社は、割当予定先である株式会社アニヴェルセル HOLDINGS から、2021年5月6日現在の銀行取引明細書の写しを受領し、払込について十分に可能である旨の表明を受けております。

割当予定先である日高大輔氏については、同氏の保有する銀行口座の預金残高の写しを取得し、2021年5月6日時点の同氏の保有する銀行口座の残高が、本第三者割当増資に係る同人による払込金額を上回る金額であることを確認しております。また、当該銀行口座の預金残高は、同人の親族である日高裕介氏からの融資による資金で賄われていることを、日高大輔氏本人からの説明及び預金残高の写し並びに借用証書により確認し、当該融資において日高大輔氏が、普通株式を中長期的に保有するに足りる融資期間が設定されていることを確認しました。また、日高裕介氏における貸付原資が、同人の自己資金であることを銀行口座の入出金明細の写しを入手したことに加え、当社常務取締役面高英雄氏が日高裕介氏に口頭にて確認しております。これにより、当社は、日高大輔氏が本第三者割当増資に係る払込日までに割当予定株式を引き受けるのに十分な資金を確保できるものと判断しております。割当予定先である株式会社デアルカから、2021年4月30日現在の銀行取引明細書の写しを受領し、払込について十分に可能である旨の表明を受けております。

割当予定先である西原光男氏からは、2021年4月30日現在の通帳の写しを受領し、払込について十分に可能である旨の表明を受けております。

割当予定先である西原貴志氏からは、2021年4月12日現在の通帳の写しを受領し、払込について十分に可能である旨の表明を受けております。

これにより、本第三者割当増資の払込みに関して、特段の問題はないものと判断しております。

7. 募集後の大株主及び持株比率

募集前(2020年12月31日)		募集後	
GAUDI 株式会社	14.03%	GAUDI 株式会社	12.21%
プラザ商事株式会社	13.81%	プラザ商事株式会社	12.01%
株式会社ランシステム(自己株式)	6.30%	株式会社アニヴェルセル HOLDINGS	6.51%
サントリービバレッジソリューションズ株式会社	4.59%	株式会社ランシステム(自己株式)	5.48%
株式会社ロフティー	2.17%	日高大輔	4.75%
株式会社玉林園	2.17%	サントリービバレッジソリューションズ株式会社	3.99%
岡地証券株式会社	2.13%	株式会社ロフティー	1.89%
大鐘産業株式会社	2.12%	株式会社玉林園	1.89%
平楽商事株式会社	2.12%	岡地証券株式会社	1.85%
平川正一	2.12%	大鐘産業株式会社	1.85%

(注) 1. 募集前の大株主及び持株比率は、2020年12月31日現在における株主名簿に基づき記載しております。

2. 持株比率の割合は、小数点以下第3位を四捨五入しております。

8. 今後の見通し

本第三者割当増資により今期の業績に与える影響はありません。なお、今回の調達資金を上記「3. 調達する資金の額、用途及び支出予定時期(2) 調達する資金の具体的な用途」に記載の用途に充当することにより、当社グループの企業価値の向上につながるものと考えております。

9. 企業行動規範上の手続きに関する事項

本第三者割当増資は、①希薄化率が25%未満であること、②支配株主の異動を伴うものではないことから、東京証券取引所の定める有価証券上場規程第432条に定める独立第三者からの意見入手及び株主の意思確認手続は要しません。

10. 最近3年間の業績及びエクイティ・ファイナンスの状況

(1) 最近3年間の業績(連結)

	2018年6月期	2019年6月期	2020年6月期
売上高(千円)	8,501,702	8,284,157	6,958,810
営業利益(千円)	97,473	194,942	△83,527
経常利益(千円)	93,068	204,884	△60,587
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	76,738	32,411	△884,846
1株当たり当期純利益(円)	39.54	16.70	△456.00
1株当たり配当金(円)	—	10.00	—
1株当たり純資産額(円)	925.18	941.88	475.88

(2) 現時点における発行済株式数及び潜在株式数の状況(2021年3月31日現在)

	株式数	発行済株式数に対する比率
発行済株式数	2,070,900株	100%
現時点の転換価額(行使価額)における潜在株式数	—株	—%
下限値の転換価額(行使価額)における潜在株式数	—株	—%
上限値の転換価額(行使価額)における潜在株式数	—株	—%

(3) 最近の株価の状況

①最近3年間の状況

	2018年6月期	2019年6月期	2020年6月期
始値(円)	880	1,016	822
高値(円)	1,330	1,049	1,032
安値(円)	859	650	402
終値(円)	1,006	828	504

②最近6ヶ月間の状況

	2020年 11月	12月	2021年 1月	2月	3月	4月
始値(円)	508	471	445	430	486	468
高値(円)	544	489	509	520	487	468
安値(円)	461	397	410	430	457	415
終値(円)	471	444	438	476	467	426

(注) 各株価は東京証券取引所ジャスダック・スタンダード市場におけるものであります。

③発行決議日前営業日における株価

	2021年5月20日
始値(円)	423
高値(円)	423
安値(円)	410
終値(円)	416

(4)最近3年間のエクイティ・ファイナンスの状況

該当事項はありません。

11. 発行要領

(1)株式の種類及び数	普通株式 310,000 株	
(2)払込金額	1株につき 449 円	
(3)払込金額の総額	139,190,000 円	
(4)増加する資本金額	69,595,000 円	
(5)増加する資本準備金	69,595,000 円	
(6)募集方法	第三者割当による方法	
(7)申込期日	2021年6月9日	
(8)払込期日	2021年6月10日	
(9)割当予定先 及び割当株式数	株式会社アニヴェルセル HOLDINGS 日高大輔 株式会社デアルカ 西原光男 西原貴志	155,000 株 111,000 株 22,000 株 11,000 株 11,000 株
(10)その他	本第三者割当については、金融商品取引法による届出の効力発生を条件としております。	

以上